

表 題 MELFA FRシリーズ スプライン補間機能 指令速度高速化のご連絡**適用機種** MELFA FRシリーズ (CR800-D/CR800-R/CR800-Qシリーズ)

三菱電機産業用ロボットMELFAに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
スプライン補間機能を改良し、指令速度の高速化に対応しましたので、その内容についてお知らせします。

1. スプライン補間機能 指令速度高速化

スプライン補間の指令速度に従来よりも大きな値を指定できるようにしました。
この機能を使用するには、パラメータ SPLHSPMD に”1”を指定します。

下表のように、パラメータ SPLHSPMD の値に応じて、指令速度に対する必要な経路点間の距離が変化します。パラメータ SPLHSPMD に”1”を設定すると、同一の経路点間の距離に対して、より大きな速度を指定することが可能となります。

指令速度 [mm/s]	必要な経路点間の距離	
	SPLHSPMD=0(出荷時設定)	SPLHSPMD=1
10	0.6mm 以上	0.08mm 以上
20	1.2mm 以上	0.16mm 以上
50	3.0mm 以上	0.4mm 以上
100	6.0mm 以上	0.8mm 以上
200	12.0mm 以上	1.6mm 以上
500	30.0mm 以上	4.0mm 以上

例えば、経路点間の距離が 0.6mm の場合、従来の指定可能な速度は最大で 10mm/s ですが、指令速度高速化を使用すると、最大で 75mm/s の速度が指定できるようになります。

2. 対応するソフトウェアバージョン

スプライン補間の指令速度高速化に対応するソフトウェアバージョンは、下表のとおりです。

ソフトウェア	対応バージョン
ロボットコントローラソフトウェア	Ver.A3a 以降 ^(*1)
エンジニアリングソフトウェア RT ToolBox3	Ver.1.31H 以降 ^(*2)

(*1) Ver.A3a は、2018年10月製造のロボットコントローラより順次適用されます。

(*2) Ver.1.31H より前のバージョンであっても、指令速度高速化で動作するロボットプログラムとスプラインファイルを作成することは可能です。